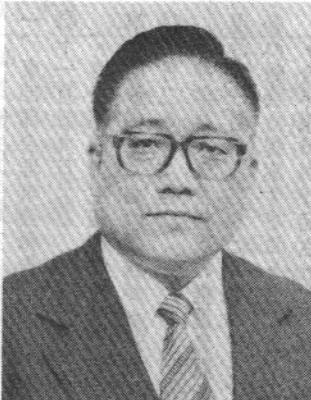


Japan Evangelical Theological Society

日本福音主義神学会

J·E·T·S・ニュース 第6号

発行所 〒651 神戸市中央区中島通2-3-5 神戸ルーテル神学校内



恵みの継続を祈りつつ

(書籍) 大著出

・不可謬性・無誤性」(フィリップ・ペイン氏)のペーパーが読まれ、第二部の内容理解では、「靈感・權威・原典をめぐって」先ず聖書学的検討(安田吉三郎氏)としてペーパーが読まれ、それに対してもレスポンス・ペーパーが、内田和彦氏と宮村武夫氏によって読まれ、つづいて教義学的検討(宇田進氏)としてのペーパーが読まれ、それに対してもレスポンス・ペーパーが、春名純人氏と上沼昌雄氏によって読られます。

また第三部の実践的適用(教義と説教)では、「新約聖書における旧約聖書の引用の問題をめぐって」といつての神学的再考が、真剣に討議され、後に印刷物として報告書の型でまとめられ、会員以外の方々にも大変喜ばれました。

創立十周年を終えたその翌年一九八一年秋には、京都において第一回神学研究会議が開かれ、日本伝道についての神学的再考が、真剣に討議されました。後に印刷物として報告書の型でまとめられ、会員以外の方々にも大変喜ばれました。

それ以来、全国理事会は、会員の方々からの要望に応えて、第二回神学研究会議を計画し、準備を進めてきました。そして、今年十一月二十九日と三十日には、二泊三日で御殿場の東山荘を会場にしていよいよ第二回研究会議が開かることになり、そのプログラムの主内容が決められました。

主題は「今日における福音主義聖書論」で、第一部プロレゴスメナでは、用語と概念の理解の整理をめぐつて、牧田吉和、服部嘉明)としては、準備実行委員会の協力を得て、参加者全員に、会議の一週間前にはこれらべーパーを資料として配布出来るよう努めています。

それについて、この研究会議が、

第2回 日本福音主義神学会神学研究会議

「今日における福音主義聖書論」

— The Evangelical View of Bible Today —

日 時 1983年11月28日(月)～30(水)
 会 場 東山荘 静岡県御殿場市東山 ☎ 0550-3-1133
 募集人員 120名
 費 用 ₩12,000～15,000位(遠隔地の参加者には交通費一部援助する予定)

プログラム草案

	28(月)	29(火)	30(水)
西暦記入 朝		9:00～12:00 B-1 灵感／權威／原典 聖書学的検討 安田吉三郎 (内田和彦／宮村武夫) 一般質疑応答を含む	9:00～11:00 C. 积義と説教(N.T.のO.T. 引用) グループA及Bに対する一般参 加者よりの質疑応答 11:00～12:00 総括(コーディネーター)
昼	(受付・登録)	1:00～4:00 B-2 灵感／權威／原典 教義学的検討 宇田進 (春名純人／上沼昌雄) 一般質疑応答を含む ※(交わりの時間)	※(閉会礼拝)
全 夜	7:00～9:00 A. プロレゴメナ 1「靈感」舟喜順一 2「無謬性／不可謬性／ 無誤性」フィリップ・ペイン 一般質疑応答を含む	7:00～9:00 C. 积義と説教(N.T.のO.T. 引用) グループA 石丸 新／片岡伸光 グループB 清水武夫／油井義昭 (各グループ50分で発表のみ)	

コーディネーター 服部嘉明、牧田吉和、津村俊夫の各氏

日本福音主義神学会は、一九七〇年の創立以来、各部会における研究

会、東西部会合同研究会議、また、「学会誌」などを通して積極的にイ

エス・キリストの福音を弁証、証言

してまいりました。さらに、昨八二

年

度

に

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

「

東部部会 第十四回総会・研究会 ご案内	
日時	一九八三年四月二五日
会場	お茶の水学生キリスト教
礼拝	午後一時半～八時半
総会	二時～三時
研究会	三時～五時
発表者	「最近の聖書論関係著作を巡 つて —紹介と批評—」 大滝 信也氏
講演会	七時～八時半
か	「福音主義は歴史をどう見る か —今日の聖書論問題と の関連において—」 東京基督神学校校長 丸山忠孝氏

中部部会総会ご案内	
日時	一九八三年五月一六日(月)
会場	愛知県中小企業センター
総会	二時～三時
研究会	三時～五時
講演会	七時～八時半
か	「ただ聖書が聞かれるために —宗教改革時代の聖書論—」 丸山 忠孝氏

西部部会総会ご案内	
日時	一九八三年五月九日(月)
会場	神戸基督教改革宗長老教会
研究発表	「翻訳された聖書は 権威があるのか」 安田吉三郎氏
「靖国問題を考える」 森作 常生氏	西川 重則氏
「情報化時代と宣教」	西川 重則氏

全国研究会議にむけて

鍋 谷 堯 爾

今から三年前、一九八〇年一月、他の学会のようにたんなる学問的興味ではなく、じっさいの宣教と、教會形成のニーズからでてきた主題で記念して、はじめて全国大会を開いた。場所は冬の天城山荘であったが、ある。それゆえにこのよだな全国会に立った聖書教義の諸問題」という議を開くことは規約にも、慣習にも好天にも恵まれ、「福音主義の立場」を主題の下に多くの実りある成果を得ることができた。その時迄は全国会議を開かせ、このよだな「主題」を与えて下さった主に感謝し、すでに、第一回研究会議を「日本宣教の神学的再考—二十一世紀の宣教論をめぐる—」という主題の下に開き今又、第二回研究会議を開こうとしている。

今回の主題は「今日における福音主義聖書論」ということで、過去二回と同様に、現在どの教会、宣教団体、教職も直面し、正しい理解を与えるれたいと、切望している問題である。

日本福音主義神学会
谷 和 通
鍋 多 久
神戸市中央区中島通
2-3-5
神戸ルーテル神学校内
078-221-6956
大 気 堂
神戸市中央区多聞通2
-6-4
351-1875代

発編集実住行集務所
TEL 所
印住所
丸山 忠孝氏